



しあわせ
信州

ながの県リハだより

長野県立総合リハビリテーションセンター



写真：高次脳機能障害支援スタッフ

CONTENTS 2026.4 第21号

【特集】見えない困難

「高次脳機能障害」を支える仕組みづくり 2・3



退職にあたって (名誉所長 田丸 冬彦) 3

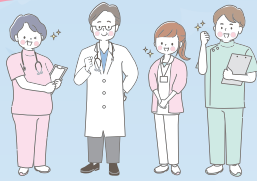
【報告】 ●障害者支援施設の理解促進等に努めています! 4	【報告】 ●出前講座、実施しています! 6
●外出支援 ~県立美術館へ~ 4	【今日の献立】 センターの食事から 7
●パソコン訓練の取組成果を発表! ~所内イベントポスター制作~ 5	【お知らせ】 レスパイト入院のご案内 7
●全国自治体病院学会で 「優秀演題」に選出されました 5	【お知らせ】 外来診療案内 8



※ 「障害」の表記について この広報紙は、長野県の「『障害』表記のガイドライン」に沿って表記しています。

「障害」という用語が人の状態を表す場合は、原則として「障がい」と表記し、例外として医学用語等の専門用語や他の機関・団体の名称（固有名詞）等は、「障害」（例：高次脳機能障害）と表記。

特集



見えない困難「高次脳機能障害」を

支える仕組みづくり



「高次脳機能障害」とは？

脳の病気やケガをしたあとに「忘れやすい」「集中しにくい」など、日常生活や仕事・学校の活動に影響がでることがあります。主な症状は以下のとおりです。

記憶障害

- 思い出せない
- 覚えることが難しい

- 約束や予定を忘れる
- 日付を間違える
- 目的地が分からなくなる
- 新しいことを覚えるのが難しい



注意障害

- 一部に気づけない
- 見落としてしまう

- 片側のもので見つけれられない
- ひとつのことに集中できない
- 気が散り疲れやすい



遂行機能行動障害

- 自分で決められない
- 無理な計画をたてても気づかない

- 予定や手順をたてるのが難しい
- 物事の優先順位が分からなくなる
- いつもと違うことがあると対応できない



社会的行動障害

- 意欲や感情のコントロール、対人関係が困難になる

- やる気が出ない
- 感情コントロールがうまくいかない
- 金銭の浪費が増える
- 対人関係をうまく保てない

高次脳機能障害者支援法と
長野県高次脳機能障害者支援センターの設置

令和8年4月1日に高次脳機能障害のある方を地域全体で支えていくための法律が施行され、県リハに「長野県高次脳機能障害者支援センター」が設置されます。高次脳機能障害について多くの方に知っていただき、医療からその後の生活まで、関係機関と連携して支援に取り組みます。



対談

県リハ 脳神経内科 田丸医師

県専任コーディネーター (Co)

令和7年度から、長野県で初めて専任の高次脳機能障害支援コーディネーターが県リハに駐在し、専門職と共に支援者を対象とした研修会の開催や地域ネットワークづくりに取り組んでいます。引き続き、「長野県高次脳機能障害者支援センター」のコーディネーターとして活動していきます。

雨宮 Co 高次脳機能障害を抱える方は、年代も困りごとさまざまですね。

田丸医師 医療だけでなく教育や労働などのチームでの支援や、関係者も当事者も繋がるのが有効です。また、障害の支援についての理解を広げる取り組みが必要です。

中田 Co 当事者の声を聞いて、支援や理解が広がってつながっていくのは大切ですね。

田丸医師 県リハは、行政が当事者の声を受け止めるためのアンテナの役割を担っています。

雨宮・中田 Co どの地域にいても、必要な支援が特別なものではなく手に届くように、研修会を開催したり、事業所訪問、広報などの取り組みを続けていきたいと思えます。

 県リハにおける高次脳機能障害がある方への支援

◇ 病院 ◇

急性期病院等で初期治療を終えて地域での生活に戻る方、あるいは戻った方を対象に、入院や外来で医療を提供しています。医師やリハビリ専門職、相談員等さまざまなスタッフが関わり、診断、障害年金や障害者手帳の診断書作成、記憶を補うためのメモリーノートの活用、仕事や家事の手順書づくり、運転再開に関わる評価などを行っています。また、ご本人やご家族が集まる場として「高次脳機能障がい者患者・家族の集い」を開催しています。

◇ 障害者支援施設 ◇

市町村から障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方などを対象に、障がいの状況に応じて、個別及びグループ活動によるオーダーメイドのリハビリテーションを実施しています。多職種の専門職が連携して、機能訓練、職業訓練、日常生活訓練の他、当センター内の自動車運転訓練場を活用した自動車運転習熟訓練等も実施しています。

退職にあたって

名誉所長 田丸 冬彦



当センターには平成9年3月から勤務させていただき、障害者自立支援法の制定、令和元年10月の台風19号による水害被災と復旧、新型コロナウイルス患者の受け入れなど、県リハのあり方を揺さぶるいくつかの出来事に立ち会ってまいりました。

在職中は、脳卒中以外にも、脊髄障害や切断、拘縮、褥瘡など整形外科との連携、専門性の高いリハビリテーション・看護技術を活用した診療がおこなえました。筋萎縮性側索硬化症（ALS）などの神経難病患者のレスパイト入院を県内で先陣を切って開始できたことをはじめ、生活困難へのリハ技術の適用、気管切開により声も出せなくなった患者さまたちへの重度障害者意思伝達装置の利用支援のための全県への家庭訪問は、県リハであればこそ可能でした。

平成15年からは、県の高次脳機能障害支援事業の中核として、高次脳機能障がいの治療、訓練から社会参加、家族支援に至るまでの医療・福祉、教育・労働領域にわたる支援を展開してきました。また、認知機能に障がいがある方の自動車運転再開について、県内の多くの病院や指定教習所協会、県警とともに支援体制の充実に取り組みました。今後、県に高次脳機能障害者支援センターが設置され、全県的な支援体制が充実することを願っています。

これまで私が関わったさまざまな活動は、病院、障害者支援施設、更生相談所、義肢装具製作施設が一体的に運営されてきた当センターであったからこそ可能でした。退職にあたり、これまで県リハとともに働いてきた職員の皆さま、県リハを育てていただいた患者・利用者の方々にお礼を申し上げます。

県リハの建替えという大きな課題にも、ようやく動きが見えてきました。皆さまのご健勝を祈念するとともに、今後は非常勤医師として県リハの行く末を見守りたいと思います。

長年ありがとうございました。

報告 Report

障害者支援施設の理解促進等に 努めています！

障害者支援施設の事業運営の透明性を高めるとともに、サービスの質の向上のため、地域の関係者を含む外部の方々にご参画いただき、「地域連携推進会議」を開催しております。同会議は令和7年度からは法律により完全義務化されているものですが、当センターでは試行的に令和6年度から取り組んでいます。

外部からご参画いただく方々は、福祉や経営に知見のある方や地域の関係者、利用者・家族の皆さまです。施設内を見学していただき、センターの運営状況や取組みの様子をご説明し、意見交換を行いました。

参画された皆さまからは、「入所されている方の生の声（感想や意見）を聴くことができ有意義だった」、「利用者家族の想いを汲み取り、サービスを越えたホスピタリティの精神で利用者に向き合っ



しい」等の感想やご意見をいただきました。

今後もサービスの透明性・質の確保に努め、様々な事業活動に地域からご協力いただけるような施設を目指して、職員一同、取り組んでまいります。

報告 Report

外出支援 ～県立美術館へ～

障害者支援施設では、地域に戻られた後の社会生活を想定して外出支援を実施しています。今回はその中から、6月と10月に行った県立美術館（長野市）へのドライブ企画についてご紹介します。

6月にはジブリ展が開催されており、利用者の方々は、作品の紹介や見慣れたキャラクターのオブジェなど1つ1つに足を止めていました。最後のブースでは、お土産をどれにするか、時間をかけて悩まれている姿も見られました。



（※写真は個人情報保護・著作権の観点から一部加工しています。）

10月には東山魁夷展が開催されており、ダイナミックな作品の展示を皆さま食い入るように鑑賞されていました。美術館の係員に作品について質問し、内容を聞きながら楽しまれている利用者の方もいらっしゃいました。

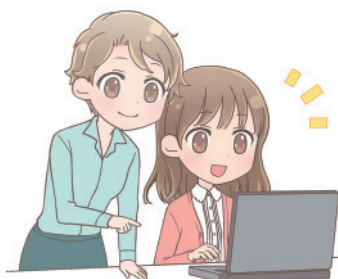
どちらの企画も利用者の方から好評で、日常から少し離れ、いつもとは違う時間を過ごしていただける機会になったかと思います。



報告 Report

パソコン訓練の取組成果を発表！ ～所内イベントポスター制作～

障害者支援施設の職業訓練メニューの1つとしてパソコン訓練を実施しており、復職や新規就労を目指す方々が、日々、ワードやエクセル、パワーポイント等の操作習得に励んでいます。



当センターでは、利用者の皆さまに楽しんでいただけるよう、カラオケ大会や職員によるバンドコンサート等を開催していますが、これらのイベントを施設内で告知するポスターの制作について、パソコン訓練を受けている利用者さまにご協力をいただいております。

イベントに対するそれぞれの想いをパソコンを通して自由に表現したポスターは、どれも素晴らしい出来栄で、職員や利用者の皆さまの目を楽しませています。



▲利用者さまに制作していただいたポスターの一部



▲クリスマスコンサートの様子

報告 Report

全国自治体病院学会で「優秀演題」に 選出されました

このたび、当センターの看護師が行った取り組みが、第63回全国自治体病院学会（看護部門）において優秀演題に選出されました。

今回評価されたのは、「患者不満足調査」という新しい視点の調査です。これまでの患者満足度調査では、多くの方が「満足」と回答される一方で、実際には言葉にされにくい困りごとや違和感があるのではないか、という疑問からこの調査は始まりました。

調査では、「尊厳」「安全・安心」「優しさ」という看護部の理念に基づき、患者さまが感じた不満な点を率直に伺うことで、これまで見えにくかった声を丁寧に拾い上げました。

その結果、患者さまの思いや感じ方を改めて知ることができ、日々の看護を見直す大きなきっかけとなりました。

この取り組みは、特定の患者さまの感じ方や、特定の看護師、あるいは一つの病院を評価したり批判したりするものではありません。日常の医療や看護の中で、どの施設でも無意識のうちに起こり得る「気づきにくい部分」に目を向け、患者さまの声を今後の看護に活かしていくことを目的としています。

今後も当センターでは、利用者の皆さまやご家族の声に真摯に耳を傾け、理念に基づいた、より安心して過ごしていただけるリハビリテーション医療の提供に努めてまいります。





朝はどんなおかずを食べますか？

今回は旬のしらすを使った短時間でパパッと作れる卵料理です。しらすが入ることで塩味だけでなく旨味も加わり、味を感じにくい朝でも美味しく食べることができる一品です。



しらす入り炒り卵

- ・・・ 材料 (2人分) ・・・
- 鶏卵 …………… Lサイズ2個
 - しらす干し …………… 20g
 - 玉ねぎ …………… 40g
 - 冷凍むき枝豆 …… 20g
 - サラダ油 …………… 大さじ1/2
 - 塩 …………… 0.5g



…………… 作り方 ……………

- ①ボウルに卵を溶きほぐし、玉ねぎは薄切りにする。
- ②中火にかけたフライパンにサラダ油を熱し、しらす、玉ねぎ、枝豆、塩を入れて軽く炒める。玉ねぎに火が通ったら溶き卵を加えて数本の箸でかき混ぜる。
- ③卵がふんわりしたら火を止め、さらに箸でかき混ぜて余熱で火を通す。
- ④器に盛り付けていただく。

卵は、良質のたんぱく質と脂質、糖質、ビタミン、ミネラルなど生きていくために必要な栄養素をバランス良く含んだ食品です。消化吸収されやすいので、最優先でとりたい食品です。

▲ 献立の組み合わせ例 ……………

- ★ごはん
- ★みそ汁
- ★しらす入り炒り卵
- ★お浸し
- ★昆布佃煮



(1人分栄養価)	
エネルギー	129kcal
たんぱく質	10.7g
脂質	8.2g
食塩相当量	0.6g

レスパイト入院のご案内

◇◇ レスパイト入院とは ◇◇

レスパイトとは「休息」「息抜き」を意味します。地域で在宅介護や在宅医療を受けている方と、そのご家族・介護者の休息を目的とした入院制度です。介護者の病気や事故、近親者の冠婚葬祭、旅行、出産など、ご家族の事情により一時的に介護が困難になる場合にもご利用いただけます。

◇◇ ご利用対象 ◇◇

在宅介護を受けており、退院後はご自宅へ戻られる方が対象となります。

◇◇ ご利用にあたっての注意点 ◇◇

- ◆費用は医療保険を適用しますので、他の医療機関での受診予定がある期間はご利用いただけません。また、レンタル衣類・個室・テレビ等には別途料金がかかります。
- ◆必要に応じて、血液検査・レントゲン検査などの一般的な治療や、リハビリテーションを受けることが可能です。
- ◆入院の際は、定期内服薬・注入食など、普段使用されている医療器材をご持参ください。
- ◆受け入れ期間は1回につき14日以内です。医療機関を退院後、3か月が経過すれば、繰り返しのご利用が可能です。

◇◇ 申し込み方法 ◇◇

担当のケアマネージャーや、かかりつけ医を通してお申し込みください。ご家族からの直接のお申込みも受け付けています。外来までお問い合わせください。

外来診療案内

令和8年4月現在

担当医師	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科										
清野 良文			○					義肢装具 外来	○	
立岩 裕	○						○			
脳神経内科										
星野 優美			○				○			
田丸 冬彦 非常勤	○				○					
リハビリテーション科										
加藤 雄大					○				○	
丸田 大貴	○				○					
泌尿器科										
井川 靖彦 非常勤										○ 月2回

※諸事情により、担当医師が変更・休診となる場合がございますので、ご了承ください。

診療時間

整形外科・脳神経内科・… 午前 9:00～12:00
リハビリテーション科

義肢装具外来 …… 午後 2:00～3:00

泌尿器科 …… 午後 2:00～3:00

- 外来診療は、**予約制**としています。予めお電話で予約をお願いします。
なお、脳神経内科の受診については、事前にご相談ください。
- 紹介状が無くても受診できます。
- 長野市の骨粗しょう症検診は月・火・木・金曜日の整形外科担当医で実施します。
事前にご予約ください。
- 清野医師の外来日に^{じよくそう}褥瘡外来を実施します。事前にご相談ください。
- 清野医師の木曜日は**義肢装具外来**を実施します。事前にご相談ください。

電話による予約受付時間	月曜日～金曜日：午後 1 時～午後 4 時
連絡先	026-296-3953〈代表〉
備考	土・日・祝日は、予約受付を行っていません。

発行：長野県立総合リハビリテーションセンター
編集：広報委員会
住所：長野市大字下駒沢618-1
TEL：026-296-3953 FAX：026-296-3943
URL：https://www.nagano-reha.pref.nagano.lg.jp



ピオラ